

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

事務センター・本店東館・堅田支店に続き

京都銀行本店に屋上緑化が完成！

— ヒートアイランド現象の抑制とCO₂削減への取り組み —

京都銀行（頭取 柏原 康夫）では、環境保全活動の一環として、建物の加熱によるヒートアイランド現象の抑制と空調エネルギー低減によるCO₂削減などを目的に、今般、本店に屋上緑化を実施しましたのでお知らせいたします。

今回の屋上緑化は、当行本店の4階テラス部分を250㎡にわたり、建物に負担のかからない薄くて軽量の薄層緑化を採用しており、また、環境にやさしい太陽電池にて自動灌水装置のタイマーや電磁弁を制御するなど、省エネルギーにも配慮しております。

常緑の「タマリユウ」と「フッキソウ」の2種類の草木を植栽し、緑の中に白御影石を縞模様配置するなど、銀閣寺の銀沙灘（ぎんしゃだん）をイメージしております。

当行では、地球温暖化などのさまざまな環境問題が浮上するなか、京都議定書が採択された地元京都の金融機関として環境問題への取り組みを重要な経営課題と位置づけ、屋上緑化（事務センター、本店東館、堅田支店）や「京銀ふるさとの森」植樹祭の開催、京都モデルフォレスト協会への参画、資源のリサイクル（廃棄文書をトイレトペーパーなどにリサイクル利用）など、環境保全活動に積極的に取り組んでおります。

地球温暖化防止を図るため、温暖化ガスの排出量削減に向けた取り組みが「企業の社会的責任」（CSR）の一つとして位置付けられるなか、当行では今後とも環境にやさしい企業作りを目指してまいります。

記

1. 実施場所

京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町 700 番地

京都銀行 本店 4階テラス

2. 実施面積等

面積：250㎡（25m×10m）、工法：薄層緑化

3. 植栽植物

タマリユウ（ユリ科、常緑多年草）、フッキソウ（ツゲ科、常緑小低木）

4. 完成日

平成20年6月22日

以上

<ご参考>

屋上緑化の効果等について

都市部では、日射による熱が建築物の屋上等に蓄積され、その後大気中に放出されることにより、都市全体が周辺地域に比べて高くなる、ヒートアイランド現象が問題になっています。このヒートアイランド現象を抑制するための対策の一つとして、屋上緑化が行われています。また、ヒートアイランド抑制などの省エネルギー効果だけでなく、景観・美観の向上、癒し・安らぎの場の創出など、様々な観点からのニーズが高まっています。



① 本店の屋上緑化



② 本店の屋上緑化



③ 本店屋上緑化の作業風景



④ 本店屋上緑化の作業風景



⑤ 自動灌水装置に採用の太陽電池(本店)



⑥ 本店 東館の屋上緑化(平成18年6月完成)